平成26年度

第10回千葉市農業委員会農地部会議事録

千葉市農業委員会

千葉県農業委員会農地部会議事録

平成26年12月25日、千葉県農業委員会農地部会長 伊原 茂久は、平成26年度第10回農地部会を千葉中央コミュニティセンター2階第28会議室に招集した。

<会議に付した議案>

議案第1号	農地法第3条の規定による許可申請について	(3件)
議案第2号	農地法第4条の規定による許可申請について	(1件)
議案第3号	農地法第4条の規定による許可申請について(一時転用)	(1件)
議案第4号	農地法第5条の規定による許可申請について	(10件)
議案第5号	農地法第5条の規定による許可後の
計画変更承認申請について	(2件)
議案第6号	農地法第5条の規定による許可申請について(一時転用)	(4件)
議案第7号	相続税の納税猶予に関する適格者証明願いについて	(1件)
議案第8号	千葉県農用地利用集積計画(案)の決定について	(10件)
議案第9号	千葉県農業委員会遊休農地等の利用意向調査等に関する
手続き要領の制定について	(1件)
報告第1号	農地法第3条の3第1項の規定による届出について	(6件)
報告第2号	農地法第4条第1項第7号の規定による届出について	(8件)
報告第3号	農地法第5条第1項第6号の規定による届出について	(31件)
報告第4号	地目変更について	(18件)
報告第5号	千葉県農業会議への諮問に係る答申について(第4条)	(3件)
報告第6号	千葉県農業会議への諮問に係る答申について(第5条)	(18件)

<出席委員> (16名)

1番 伊原茂久(農地部会長)	2番 小川正義
3番 石井一也	4番 高澤義信
5番 面郡高夫	6番 長谷川政美
7番 小川友安	8番 小川政二
9番 田中和夫(職務代理者)	11番 野崎好知
12番 浅川政明	13番 安井誠一
14番 植草隆晴	15番 布施貴良
16番 花島豊勇	17番 市原孝

<欠席委員> (1名)

10番 黒宮昇

<事務局説明員>

事務局長	山崎哲保	次長	楠原弘
次長補佐	御園えみ子	農地審査係長	吉田浩司
農業振興係長	小川剛	農地指導係長	角田一郎

開 会 (午後1時30分)

議 長
(伊原茂久部会長)

ただ今から平成26年度第10回農地部会を開会いたします。

本日の出席委員は、17名中、16名出席ですので、会議は成立しております。

日程第1の議事録署名人の選任の件でございますが、議席番号順となっておりますので、私から指名させていただきます。17番・「市原 孝」委員、2番・「小川 正義」委員のご両名をお願いいたします。

それでは、日程第2の議事に入らせていただきます。

議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請について」を上程いたします。

それでは、第1分科会委員長、ご説明願います。

第1分科会委員長
(西郡高夫委員長)

ご説明いたします。

なお、第1項につきましては、面接を実施いたしましたので併せてご説明いたします。

はじめに、第1項は資料の1-1をご参照願います。

本案件は、花見川区西小中台在住の方が、新規就農者として、親が所有する農地を贈与により取得したいとするものです。

面接した権利者によりますと、義務者である父親が高齢であるため、農業経営を引き継ぎたいとのことでした。

次に、第2項は資料の1-2をご参照願います。

本案件は、中央区生実町在住の方々が、共有を解消するため、申請地の持ち分を贈与により取得したいとするものです。

次に、第3項は資料の1-3をご参照願います。

本案件は、緑区小山町在住の方が、自宅に近く耕作に便利のため、売買により取得したいとするものです。

第1分科会としましては、農地法第3条第2項各号の「全部効率利用要件」、「農作業の常時従事要件」、「下限面積要件」及び「地域調和要件」等に適合しており、許可相当と意見決定いたしました。

以上でございます。

議長
(伊原茂久部会長)

ただいまの、第1分科会委員長からの説明について、質問、意見等ございますか。

質問、意見等無いようですので、採決いたします。
第1分科会委員長の説明のとおり、許可することに賛成の方は、挙手願います。

議長

——— 挙手 ———

議長
(伊原茂久部会長)

賛成全員でございますので、議案第1号は、許可と決定いたします。

次に、議案第2号「農地法第4条の規定による許可申請について」を上程いたします。
第1分科会委員長、ご説明願います。

第1分科会委員長
(西郡高夫委員長)

ご説明いたします。
なお、現地調査を実施いたしましたので、その結果も併せてご説明いたします。

資料2-1をご参照願います。

資料は位置図、公図、土地利用計画図の3ページ構成になっております。

本案件は、資材置場用地とするものです。

申請地はJA千葉みらい農産物直売所「しょいかーご」の北側に近接する農地です。

農地区分は、市街地化が見込まれる区域内にある農地であることから、第2種農地と判断しました。

現況は休耕で、周辺も休耕地が点在しております。

被害防除は、雨水を自然浸透で処理します。

第1分科会としましては、申請内容等に特に問題は無いものと判断し、許可相当と意見決定いたしました。

以上でございます。

議長
(伊原茂久部会長)

ただいまの、第1分科会委員長からの説明について、質問、意見等ございますか。

質問、意見等無いようですので、採決いたします。
第1分科会委員長の説明のとおり、許可することに賛成の方は、挙手願います。

議長

——— 挙手 ———

議長
(伊原茂久部会長)

賛成全員でございますので、議案第2号は、許可と決定いたします。

第1分科会委員長
(西郡高夫委員長)

次に、議案第3号「農地法第4条の規定による許可申請について(一時転用)」ですが、第2項については申請書類に不備がございましたので、審議を保留とし、第1項のみを上程いたします。

第1分科会委員長、御説明願います。

ご説明いたします。

本案件は、営農型太陽光発電設備用地として使用したいとする件です。

資料3-1の位置図をご参照願います。申請地は、緑区平川町内で、千葉市水道局の北側に接する農地です。

農地区分は、10ヘクタール以上の規模の一団の農地の区域内にある農地であることから、第1種農地と判断いたしました。

設備は、東京電力との契約期間である20年間は設置し続ける予定ですが、農林水産省通知により3年ごとに許可を取り直すこととされているため、一時転用期間は来年2月から3年間となっております。

第1分科会としましては、申請内容等に特に問題は無いものと判断し、許可相当と意見決定いたしました。

以上でございます。

議長
(伊原茂久部会長)

事務局より、補足説明をお願いします。

事務局

補足事項について、ご説明いたします。

営農型太陽光発電については、本市では既に4件の許可を行っており、今回の申請が5件目となります。また、今回は、土地所有者が自ら設備を設置するため、農地法第4条の許可申請となっております。

議案書4ページをご覧ください。申請者は、緑区平川町在住の農家の方です。一時転用面積は、0.22平方メートルとなっておりますが、これは、地中に埋め込むパイプの断面積及び電線の引き込みポールの基礎の面積の合計となっております。設備自体の設置面積は、「施設の概要」欄にございますとおり、870.81平方メートルです。

資料の3-1をご覧ください。2ページにわたって、第1項の設備の概要を掲載しております。155センチメートル×41.5センチメートルの細長いソーラーパネルを、南側

に30度傾けて、444枚設置いたします。パネルを支える支柱の直径は48.6ミリメートルで、これを70本使用します。支柱の間隔は4メートル、パネルの設置高さは地上3メートルです。支柱は、基礎固めはせず、地中1.5メートルの深さに埋め込みます。

資料をおめくりください。こちらに、設備の概要及び営農計画の概要をまとめました。

発電出力は、51.06kw、年間予測発電量は、約62,000kwhです。垂直投影面積に基づいた遮光率は、28.5%です。申請地の隣接地が畑となっておりますが、隣接地との間隔を十分とることで、朝夕の日影がわずかにかかる程度の影響にとどめております。また、隣接地権者に説明済みです。申請地の現況ですが、ニンジンを栽培中です。設備の下での栽培予定作物も、同じくニンジンです。

設備の遮光による影響見込ですが、収量・品質ともに、低下はほぼ無い見込みとのことでございます。その根拠ですが、光飽和点という概念があり、これは、光合成のために使いきれぬ光の量のこと、それ以上の光をあてても、その作物は光を使い切れない、というものです。ニンジンの光飽和点は一般に40キロルクスとされており、昼の快晴時の太陽光が約110キロルクスとされていることから、30%程度の遮光を行っても、光飽和点以上の太陽光があたることになる、とのことでございます。また、本市で1例目の営農型太陽光発電施設である緑区下大和田町の施設で、ニンジンの栽培実績があり、収量・品質ともに、一般の露地のものとほとんど差がなかったとのことでございます。また、営農型発電の研究の専門家から、問題がない旨の意見書も出されております。こうしたことから、農林水産省が申しているような、2割以上の減収や、著しい品質の劣化といった事態は生じないものと思われま

す。なお、土地所有者の方は、現在勤めに出る傍ら、農業を行っておりますが、間もなく定年を迎えることから、本格的に農業を行いたいとのことでございます。また、ニンジンについては、5年の栽培経験があるとのことでございます。

説明は以上でございます。

議長
(伊原茂久部会長)

ただいまの、第1分科会委員長及び事務局からの説明について、質問、意見等ございますか。

議 場	<p>質問、意見等無いようですので、採決いたします。 第1分科会委員長の説明のとおり、「許可」することに賛成の方は、挙手願います。</p>
議 長 (伊原茂久部会長)	<p>———— 挙手 ————</p> <p>賛成全員でございますので、議案第3号第1項は「許可」と決定いたします。</p> <p>次に、議案第4号「農地法第5条の規定による許可申請について」を上程いたします。</p> <p>なお、第10項は議案第5号第2項との関連案件のため、第1項から第9項までを審議、採決を行います。 第1分科会委員長、ご説明願います。</p>
第1分科会委員長 (西郡高夫委員長)	<p>ご説明いたします。</p> <p>なお、第1項から第4項までにつきましては、現地調査を実施いたしましたので、その結果も併せてご説明いたします。</p> <p>また、第1項は第2項との一体案件ですので、一括してご説明します。</p> <p>お手元の資料の4-1・2をご参照願います。</p> <p>資料は位置図、公図、土地利用計画図の3ページ構成になっております。</p> <p>本案件は、建売分譲住宅用地とするため、売買により取得するものです。</p> <p>申請地は、JA千葉みらい農産物直売所「しよいかーご」から北へ 約100mに位置する農地です。</p> <p>農地区分は、市街地化が見込まれる区域内にある農地であることから、第2種農地と判断しました。</p> <p>現況は休耕で、周辺も休耕地が点在しております。</p> <p>被害防除は、排水関係につきましては、汚水は污水管に接続します。</p> <p>雨水は、貯留槽を設置し、流出を抑制し、道路側溝に接続します。</p> <p>周囲は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。</p> <p>次に第3項です。</p> <p>お手元の資料の4-3をご参照願います。</p>

資料は位置図、公図、土地利用計画図の3ページ構成になっております。

本案件は、建売分譲住宅用地とするため、売買により取得するものです。

申請地は、菅田東小学校から東へ約100mに位置する農地です。

農地区分は、市街地化が見込まれる区域内にある農地であることから、第2種農地と判断しました。

現況は休耕で、周辺も休耕地が点在しております。

被害防除は、排水関係につきましては、汚水は浄化槽で処理した後、道路側溝に接続します。

雨水は、貯留槽を設置し、流出を抑制し、道路側溝に接続します。

周囲は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。

次に、第4項です。資料の4-4をご参照願います。

本案件は、太陽光発電施設用地及び駐車場とするため、売買により所有権を取得するものです。

申請地は県立特別支援学校の南東約300mに位置する農地です。

農地区分は、市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であることから、第3種農地と判断しました。

現況は休耕で、周辺は事業所や駐車場などが点在しております。

被害防除は、雨水を自然浸透により処理します。

本件は一体利用地があり、現況は雑種地ですが、40年以上前から山林であったことから、地元農業委員による確認のうえ、非農地証明を発行しております。

次に、第5項です。資料の4-5をご参照願います。

本案件は、資材置場とするため、売買により所有権を取得するものです。

申請地は県立特別支援学校の北東約700mに位置する農地です。

農地区分は、市街地化の傾向が著しい区域に近接する農地であることから、第2種農地と判断しました。

被害防除は、排水関係につきましては、雨水を自然浸透で処理し、周囲の一部にコンクリートブロックを設置します。

次は、第6項です。

資料の4-6をご参照願います。

本案件は、太陽光発電施設用地とするため、賃借により借用するものです。

申請地は、泉高等学校から西に近接する農地です。

農地区分は、小集団の区域内にある農地であることから、第2種農地と判断しました。

被害防除は、雨水を自然浸透で処理します。

周囲は、フェンスを設置します。

次は、第7項です。本件は第8項との一体案件ですので、一括してご説明します。

資料の4-7・8をご参照願います。

本案件は、申請地を親族からの使用貸借により専用住宅を建築する計画です。

申請地は、若松中学校から南東へ約190mに位置する農地です。

農地区分は、市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であることから、第3種農地と判断しました。

被害防除は、汚水は、污水管に接続し、雨水は、浸透枳により流出を抑制し、道路側溝に接続します。

周囲は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。

次は、第9項です。

資料の4-9をご参照ください。

本案件は、建売分譲住宅用地とするため、売買により所有権を取得するものです。

申請地は、京葉道路の幕張パーキングエリアから西へ約150mに位置する農地です。

農地区分は、市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であることから、第3種農地と判断しました。

被害防除は、汚水は、污水管に接続し、雨水は、浸透槽により流出を抑制し、道路側溝に接続します。

周囲は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。

第1分科会としましては、申請内容等に特に問題は無いものと判断し、許可相当と意見決定いたしました。

以上でございます。

議長 (伊原茂久部会長)	ただいまの、第1分科会委員長からの説明について、質問、意見等ございますか。
	質問、意見等無いようですので、採決いたします。 第1項から第9項について、第1分科会委員長の説明のとおり、許可することに賛成の方は、挙手願います。
議長	——— 挙手 ———
議長 (伊原茂久部会長)	賛成全員でございますので、第1項から第9項は、許可と決定いたします。
	次に、議案第5号「農地法第5条の規定による許可後の計画変更承認申請について」を上程いたします。 なお、第2項は議案第4号第10項と関連案件のため、併せて審議、採決を行います。 第1分科会委員長、ご説明願います。
第1分科会委員長 (西郡高夫委員長)	ご説明いたします。 第1項です。 資料は5-1をご参照願います。 資料は、位置図と土地利用計画図の変更前と変更後の3ページ構成になっております。 申請地は、モノレール小倉台駅から南東へ約450mに位置する農地です。 本案件は、権利者が43棟の建売分譲住宅用地として平成25年度第10回農地部会の議案として許可を受け、平成26年度第3回農地部会の議案として計画変更承認を受け42棟の建売分譲住宅用地として現在工事中ですが、販売時の多様なニーズに対応できるように広い区画を設けたいとするものです。 変更内容ですが、資料5-1の土地利用計画図をご覧ください。変更前と変更後の計画図で、変更内容は、2つの区画を合わせて1つの区画とするものです。 次は、第2項です。 本案件は議案第4号第10項と関連案件ですので、一括してご説明します。 資料の4-10、5-2をご参照ください。 申請地は、JR鎌取駅から北へ約750mに位置する農地です。

農地区分は、市街地化が見込まれる区域内にある農地であることから、第2種農地と判断しました。

本案件は、平成23年度第9回農地部会の議案として許可された転用事業の区域を拡張する計画変更の承認と合わせて、審議を願うものです。

資料4-10、5-2の位置図をご覧ください。

太枠の区域が変更前の区域で、黒塗り部分が変更となる拡張する区域です。

議案書10ページをご覧ください。

権利者は、申請地の隣地で、17棟の建売分譲住宅を建設中ですが、地権者の同意が得られたため、隣接地の4棟分を拡張したいとするものです。

被害防除は、排水関係につきましては、汚水は污水管に接続し、雨水は、浸透貯留槽により流出を抑制し、雨水管に接続します。

周囲は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。

第1分科会としましては、申請内容等に特に問題は無いものと判断し、議案第4号第10項については許可相当、議案第5号については承認相当と意見決定いたしました。

以上でございます。

議長
(伊原茂久部会長)

ただいまの、第1分科会委員長からの説明について、質問、意見等ございますか。

質問、意見等無いようですので、採決いたします。

第1分科会委員長の説明のとおり、議案第4号第10項について許可すること、議案第5号について承認することに賛成の方は、挙手願います。

議長

——— 挙手 ———

議長
(伊原茂久部会長)

賛成全員でございますので、議案第4号第10項については許可、議案第5号については承認と決定いたします。

次に、議案第6号「農地法第5条の規定による許可申請について(一時転用)」を上程いたします。

第1分科会委員長、御説明願います。

第1分科会委員長
(西郡高夫委員長)

ご説明いたします。

まず、第1項です。資料の6-1をご参照願います。

本案件は、権利者の方が自己所有農地の軽微な農地改良を実施するため、他の方の農地を一時的に通路用地として使用するため、使用貸借権を設定するというものです。

申請地は、千葉刑務所の北東約200メートルに位置する農地で、農地区分は市街地化が著しい区域に近接する農地であることから、第2種農地と判断いたしました。

申請地が道路面より低いいため、通路部分を盛土し、鉄板を敷きます。

一時転用期間は、来年1月23日から3か月間です。

なお、権利者自身の所有農地の一部も一体利用いたしますが、農地法施行規則の規定により、こちらについては許可が不要となっております。

次に、第2項です。本件は、第4項までの一体案件ですので、一括してご説明いたします。

本案件は、送電線用鉄塔の除去のための工事用地として使用するため、賃借権を設定するというものです。

権利者は、千葉から茂原方面に向かう送電線の撤去工事を平成24年から段階的に進めており、今年度も4回、農地部会でご審議をいただき、一時転用許可を行っておりますが、今回は若葉区北谷津町及び緑区平川町の2か所の鉄塔を除去するため、その周辺の畑、847平方メートルを使用するというものです。

第2項・第3項については、資料の6-2・3をご覧ください。若葉区北谷津町の農地で、農地区分は、農業公共投資の対象となっていない小集団の区域内にある農地であることから、第2種農地と判断いたしました。

第4項については、資料の6-4をご覧ください。こちらは、緑区平川町の農用地区域内の農地です。

いずれの土地も、鉄板又は樹脂製の「エコマット」を敷き詰める予定です。また、作業場所の周囲をガードフェンス又は区画ロープで囲う予定です。

一時転用期間は、来年2月1日から2か月間となっております。

第1分科会としましては、いずれも申請内容等に特に問題は無いものと判断し、許可相当と意見決定いたしました。

以上でございます。

議長 (伊原茂久部会長)	<p>ただいまの、第1分科会委員長からの説明について、質問、意見等ございますか。</p> <p>質問、意見等無いようですので、採決いたします。 第1分科会委員長の説明のとおり、「許可」することに賛成の方は、挙手願います。</p>
議場	——— 挙手 ———
議長 (伊原茂久部会長)	<p>賛成全員でございますので、議案第6号は「許可」と決定いたします。</p> <p>次に、議案第7号「相続税の納税猶予に関する適格者証明願について」を上程いたします。 第1分科会委員長、ご説明願います。</p>
第1分科会委員長 (西郡高夫委員長)	<p>本案件は、地元農業委員による現地調査案件でございます。</p> <p>第1項は、長谷川 功 委員から、申請農地は、すべて自ら耕作の用に供していることを確認した旨の現地調査結果報告書が、農地部会長あてに提出されております。</p> <p>第1分科会といたしましては、特に問題はないものと判断し、適格者証明書を発行することについて、承認相当と意見決定いたしました。</p> <p>以上でございます。</p>
議長 (伊原茂久部会長)	<p>ただいまの、第1分科会委員長からの説明について、質問、意見等がありましたら、お願いいたします。</p> <p>質問、意見等無いようですので、採決いたします。 第1分科会委員長の説明のとおり、承認することに賛成の方は、挙手願います。</p>

議 場

—— 挙手 ——

議 長
(伊原茂久部会長)

賛成全員でございますので、議案第7号は、承認と決定いたします。

次に、議案第8号「千葉市農用地利用集積計画(案)の決定について」を上程いたします。第1分科会委員長、ご説明願います。

第1分科会委員長
(西郡高夫委員長)

それでは、ご説明いたします。

本案件は、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により、市長より農業委員会に対して、農用地利用集積計画案の適否についての判断を依頼されたものです。

第1項から第6項は、千葉みらい農業協同組合の実施する農地利用集積円滑化事業に係る案件のため、一括してご説明します。

第1項及び第2項は、千葉みらい農業協同組合が中央区浜野町在住の方が所有する同町の田6筆、合計面積3,915㎡を使用貸借にて借り上げ、同区南生実町の農家の方に使用貸借権を継続して設定するもので、設定期間は3年です。

第3項から第6項は、同じく千葉みらい農業協同組合が、若葉区北谷津町在住の農家の方、他1名が所有する同町の畑2筆、合計面積5,470㎡を賃貸借にて借り上げ、佐倉市下勝田の農家の方に賃貸借権を新たに設定するもので、設定期間はいずれも3年です。

第7項は、若葉区みつわ台在住の農家の方が、同区富田町在住の方の所有する同町の畑1筆、面積13,832㎡の内200㎡に賃貸借権を新たに設定するもので、設定期間は6年です。

第8項から第10項については、権利者が同一のため、一括して説明します。緑区板倉町の農業生産法人が、緑区板倉町在住の農家の方、他2名から緑区板倉町、同区大木戸町及び同区下大和田町の田4筆及び畑2筆、合計面積5,882㎡に賃貸借権を新規に設定するもので、設定期間は第8項が6年、第9項が10年、第10項が2年です

第1項から第10項の合計面積は、15,467㎡です。本計画(案)は、本市において基本構想に適合するとと

議長
(伊原茂久部会長)

もに、権利者が経営農地の全てを効率的に利用し、必要な農作業に常時従事するものとして作成されたものです。

第1分科会といたしましても、第1項から第10項について、利用権の受け手要件に適合し、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると判断されるため、決定相当と意見決定いたしました。

説明は以上でございます。

ありがとうございました。

ただいまの、第1分科会委員長の説明について、質問、意見等ございましたらお願いします。

質問、意見等ないようですので、採決いたします。

第1分科会委員長の説明のとおり、決定することに賛成の方は、挙手願います。

議長

—— 挙 手 ——

議長
(伊原茂久部会長)

賛成全員でございますので、議案第8号は、原案どおり決定いたします。

次に、議案第9号「千葉市農業委員会遊休農地等の利用意向調査等に関する手続き要領の制定について」を上程いたします。

本議案は、部会委員全員による審議を経て可否を決定することが適当であることから、第1分科会では、事務局による議案説明及び質疑のみを行い、意見決定は行っておりませんので、再度、事務局から説明願います。

事務局

議案第9号「千葉市農業委員会遊休農地等の利用意向調査等に関する手続き要領の制定について」をご説明いたします。

それでは、議案書別冊をご覧ください。また、併せて資料の「議案第9号資料」をご参照ください。

本案件は、「農業の構造改革を推進するための農業経営基盤強化促進法等の一部改正」に伴い、資料の「議案第9

号資料」の下段に示す「利用意向調査」に係る部分についての取扱いについて定める遊休農地等の利用意向調査等に関する手続き要領を制定しようとするものです。

議案書別冊1ページをご覧ください。

農地法並びに農地法の運用、さらに今年6月に全国農業会議所より示された試案を参考に事務局案を作成しておりますので、順を追って説明いたします。

手続き要領(案)は、条文3条で構成されております。

第1条では、この要領の目的について規定しております。

次に、第2条では、農業委員会が実施する農地法第30条の規定による利用状況調査の結果に基づき、同法第32条第1項の各号いずれかに該当する農地、いわゆる遊休農地、または、法第33条第1項に該当する農地、いわゆる今後、遊休化のおそれがある農地に対して行う農業上の利用の意向に係る調査の実施について規定しております。

第1項では、その調査の対象とする基準、第2項では、その調査の方法等についてを規定しております。

次に第3条では、第2条の規定によって実施した調査に基づく農地の利用関係の調整について規定しております。

第1項では、調査により確認した所有者等の意向を勘案しつつ、農地の農業上の利用が図られるよう農地の利用調整、あっせん等の手続きについて、規定しております。

第2項では、利用状況調査における意向表明に従った行為を実施しない者等への「勧告」に係る手続き、また、第3項では、所有者を確認できない該当農地に係る手続きについて規定しております。

詳細については、本要領(案)の各条項をご覧ください。

また、本要領の施行日についてですが、農地部会で決定された日をもって施行することとしたいと考えております。

なお、この要領の施行に伴い、平成22年10月28日付け施行した、千葉市農業委員会遊休農地の指導等に関する手続き要領は、廃止します。

説明は以上です。

議長
(伊原茂久部会長)

ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明について、質問、意見等ご

	<p>ございましたらお願いします。</p> <p>質問、意見等ないようですので、採決いたします。 事務局の説明のとおり、制定することに賛成の方は、挙 手願います。</p>
議 場	—— 挙 手 ——
議 長 (伊原茂久部会長)	<p>賛成全員でございますので、議案第9号は、原案どおり 制定といたします。</p> <p>以上で審議案件は終了いたしましたので、 報告案件について、第1号から第6号までを一括して上 程いたします。</p> <p>事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>ご説明いたします。 報告第1号「農地法第3条の3第1項の規定による届出 について」は、議案書の23頁及び24頁に6件ありまし た。</p> <p>報告第2号「農地法第4条第1項第7号の規定による届 出について」は、議案書の25頁及び26頁に8件ありま した。</p> <p>報告第3号「農地法第5条第1項第6号の規定による届 出について」は、議案書の27頁から30頁に31件あり ました。</p> <p>第1号から第3号のいずれも、内容につきましては、記 載のとおりです。</p> <p>添付書類も含め完備しておりましたので、事務局長専決 により、全項受理通知書を交付いたしました。</p> <p>報告第4号「地目変更について」は、議案書の31頁及 び32頁に18件ありました。</p> <p>農業委員による現地調査を行いました結果、いずれも、</p>

内容につきましては、記載のとおりであり、法務局に回答済みです。

報告第5号及び第6号「千葉県農業会議諮問に対する回答について(第4条及び第5条)」は、議案書の33頁から35頁に、4条が3件、5条が18件 ございました。

いずれも、12月2日に諮問し、12月12日に開催された千葉県農業会議より「許可相当」との回答があり、許可指令書を交付いたしました。

他法令が関係する案件につきましては、関係部局と調整のうえ、許可指令書を交付いたします。

以上でございます。

議長
(伊原茂久部会長)

ただいまの報告第1号から第6号について、質問、意見等ございましたらお願いいたします。

質問、意見等無いようです。これらは報告案件でございますので、ご承認いただきたいと思います。と存じます。

以上をもちまして、平成26年度第10回農地部会を閉会いたします。

委員の皆様には、大変お忙しい中、慎重審議を賜りまして、ありがとうございました。

閉会(午後2時10分)